

せたな町大成地域

指定基準	講評
<p>イ．当該地域マリンビジョンが、地域のポテンシャルを活かすとともに個性ある計画となっていること。</p>	<p>大成地域は「豊かな海と生涯現役漁業」をキャッチフレーズとして、つくり育てる漁業の振興を行って持続的に漁業生産力を維持しつつ、関連産業と連携した地産地消の推進や海を多面的に活用していく等の内容となっている。地域波及効果の高いイカの外来船の振興方策を行うことと並行して地元漁業者の生涯現役のための取り組みを行っていく点に特徴があり、地域として価値あるビジョンとなっている。</p>
<p>ロ．当該地域マリンビジョンが、独創性、先駆性、広域性のいずれかが認められるとともに、他地域モデルとして見込め、北海道マリンビジョン21の具現化に資する計画となっていること。</p>	<p>ビジョンは日本海沿岸や道南地域の漁業が直面している諸課題に対応する内容となっており、そのビジョンは地域にとって有益なものとなっているものの、現段階において他地域を先導するような顕著なモデル性は見受けられない。</p>
<p>ハ．当該地域マリンビジョンが、地域協議会の十分な議論・調整を踏まえた計画であること。また、地域マリンビジョン策定後であっても、適宜地域協議会において当該地域マリンビジョンの円滑な推進を図る計画となっていること。</p>	<p>多様な協議会参加者による議論がなされた計画であると評価できる。地域マリンビジョンの策定時には地域の各部会を通じて状況を周知し、策定後においては市の広報紙に取り組み内容を掲載するなど、地域での合意形成に工夫がなされ、ビジョンを推進していくための環境醸成もなされている。</p>
<p>ニ．当該地域マリンビジョンに位置付けられている拠点漁港が、北海道マリンビジョン21の趣旨に鑑み、計画において拠点漁港のいずれかに該当すること。</p>	<p>拠点漁港の久遠漁港はモデル性が確保されている。現在島防波堤を整備しており、その静穏水域によってビジョンの重点プロジェクトでもある港内水域を活用した生涯現役漁業のための沿岸資源創出が期待される。また、同漁港は衛生管理のための整備も既に完了しており、さらなる基盤の効果的な活用によってビジョンが早期に実現することを期待したい。</p>
<p>ホ．地域マリンビジョンの実現に向けた取り組み内容が各実行主体ごとに明確になっているほか、それらの取り組みが地域において継続的に行われる等、地域マリンビジョン及び取組主体の熟度が認められること。</p>	<p>ビジョンの取り組みの一部は既に実行されているものの、幾つかの重点プロジェクトについては実効性に課題を有している。 特に、マリンビジョン協議会の中において漁協は主要な実行主体となるが、当地域の場合、地域単位と比べて漁協エリアが広く、重点プロジェクトにもある消費流通問題を取り組む際には漁協の方針によってプロジェクトの実効性が大きく左右されることになる。漁協との連携協働体制を強化してプロジェクトの実効性を高めることを期待したい。 また、フォローアップの検討を通じて、現状の課題を再確認し、将来への地域振興の目標を定めるなどの工夫をしながら、重点プロジェクトの内容を見直しつつビジョンを進化させてより実効性のある取り組みとなることを期待したい。</p>